



中学生の皆さん。
宮城県の観光を一緒に盛り上げましょう

宮城県松島高等学校

笑顔咲くたび
伊達な旅

仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom

松島高校 観光科 リーフレット

【1 観光科とは?】

観光科は、観光資源を学習素材とし、社会で即戦力として活躍し地域に貢献できる人材の育成を目指します。そして、「自分に何か出来るか?」、「何をするのか?」、「そのためには、何を学ぶのか?」を考えて学習し、お客様との接客対応からコミュニケーション能力を高め「おもてなしの心」を育み、学習した歴史や名所・史跡や地域の資源を活用したツアー等の企画を考え実践します。

下記のサイクルによるカリキュラムデザインが観光科の柱となっています。

学習 → 体験 → 実習 → 学習(スキルアップ) → リトライ



【2 学校設定科目】(令和4年度入学生カリキュラム(予定))

観光科では、普通科目に加えて下記にある独自の専門科目を学習します。(カッコ内は単位数)
観光科で学ぶ内容は歴史・地理・経済・法律・ビジネスマナー・ICT等多くの範囲にわたります。また、外部講師を招いての講話や生徒自身が考えた企画の発表等も実施します。

第1学年 観光基礎(3 ※実習の増加単位を含む)、地元学(1)
第2学年 観光地理(2)、旅行業務(4 ※実習の増加単位を含む)
観光ビジネス(2)
第3学年 観光実践(3)、課題研究(3)



【3 実習】 観光科では、学年毎に観光に関する実習に取り組みます。

第1学年 販売実習(約3週間)・観光ガイド演習・観光ガイド実習、田植え・稲刈り体験
YOSAKOI運営ボランティア、海の盆運営補助、磯崎漁港牡蠣祭り運営補助

第2学年 ホテル実習(約1か月)・観光ガイド実習、YOSAKOI運営ボランティア、
研修旅行(宮城PR活動)

第3学年 松高おもてなしツアー、観光ガイド実習
その他、地元新聞店発行のミニコミ誌記事・編集等



【4 松島高校の取り組み紹介①】

松島高校観光科の取り組みが河北新報社様に掲載されました。

(出典 河北新報社 2021年3月29日(月)朝刊)

松島高校観光科公式チャンネルQRコード



第三種郵便物認可

2021年(令)

松島の魅力 動画でPR

松島高観光科の3年生4人が、新型コロナウイルスの影響で観光客減に苦しむ日本三景松島をPRする動画「松島すけるべ〜おだすなコロナ〜(松島を支えよう〜コロナ撃退〜)」を制作した。新型コロナの収束後に松島への来訪を訴える内容で、動画投稿サイト「ユーチューブ」の同校観光科公式チャンネルで視聴できる。

動画制作は授業の一環で、長さは約5分50秒。2人が観光ガイド演習などで学んだ知識を生かして作詞し、歌唱も担当。残る2人がパソコンを使った映像編集と音楽制作を手掛けた。

映像はスマートフォンとタブレット端末で撮影。瑞巖寺や五大堂などの観光名所、特産品のカキなどを紹介する歌詞に合わせて、名所の写真や現地で撮影した動画などを組み合わせ、感染の収束を願って手作りした。疫病を払うとされる妖怪「アマビエ」の人形も盛り込んだ。

音楽はさまざまな音源を組み合わせて作曲できる音楽制作ソフトウェアを活用。ピアノやドラムの音を使い、明るいテンポの曲に仕上げた。各作業は昨年10月中旬に始め、授業時間や放課後を使って完成させた。

若生遥斗さん(18)は「コロナの影響で松島のにぎわいがなくなっ

ていた。観光科としてお世話になった地元の方々に元気になってもらいたいと動画を制作した」と話した。

安倍聖矢さん(18)は「松島には素晴らしい景色やおいしい食べ物がたくさんあると伝えたい。みんなで感染予防に努め、収束したら県内外の人に訪れてほしい」と呼び掛けた。

地元高校生4人が制作

動画を合わせて自作の歌を披露する生徒たち

コロナ収束後の来訪訴え

【4 松島高校の取り組み紹介②】

松島高校観光科の取り組みが河北新報社様に掲載されました。

(出典 河北新報社2020年11月19日(木)朝刊)

2020年(令和2年)11月19日(木曜日)

震災伝承とコロナ下の観光

オンラインで学ぶ

黒板に映し出された小野寺支配人の講話を聴く生徒たち

松島高観光科は、新型コロナウイルスの感染拡大に対応しオンライン授業を実施した。松島町の同校で実施した。教室と南三陸町の三陸ホテル観光をビデオ通話アプリ「フェイスタイム」で結び、東日本大震災の伝承や、松島高観光科について学んだ。2年約80人が出席。南三陸ホテル観光の小野寺浩支配人が震災後に通行し、支那の旅行バスを運行し、被災地の状況をほか、防災意識を高めてもらう話もして、多くの方々に利用してもらいたいと話した。

「将来に生かしたい」

松島高観光科は、新型コロナウイルスの感染拡大に対応しオンライン授業を実施した。松島町の同校で実施した。教室と南三陸町の三陸ホテル観光をビデオ通話アプリ「フェイスタイム」で結び、東日本大震災の伝承や、松島高観光科について学んだ。2年約80人が出席。南三陸ホテル観光の小野寺浩支配人が震災後に通行し、支那の旅行バスを運行し、被災地の状況をほか、防災意識を高めてもらう話もして、多くの方々に利用してもらいたいと話した。

「将来に生かしたい」

松島高観光科は、新型コロナウイルスの感染拡大に対応しオンライン授業を実施した。松島町の同校で実施した。教室と南三陸町の三陸ホテル観光をビデオ通話アプリ「フェイスタイム」で結び、東日本大震災の伝承や、松島高観光科について学んだ。2年約80人が出席。南三陸ホテル観光の小野寺浩支配人が震災後に通行し、支那の旅行バスを運行し、被災地の状況をほか、防災意識を高めてもらう話もして、多くの方々に利用してもらいたいと話した。

【4 松島高校の取り組み紹介③】

松島高校観光科の取り組みが河北新報社様に掲載されました。

(出典 河北新報社2021年7月4日(日)朝刊)

また、NHK仙台様・東日本放送様・仙台放送様が取り組みをニュースに取り上げていただきました。

松島高生がガイド実習

オンラインで松島案内

松島町の松島高観光科の3年生約80人が、町内の松島海岸をオンラインで案内するツアー実習初めに盛り込まれた。新型コロナウイルス下、自らで旅行気分を楽しむように観光関係者がパソコンなどの画面越しに参加した。

実習は6月20日(日)あり、生徒は入場料のグループに分かれ、円通院をガイドする松島高生

松島高観光科は、新型コロナウイルスの感染拡大に対応しオンライン授業を実施した。松島町の同校で実施した。教室と南三陸町の三陸ホテル観光をビデオ通話アプリ「フェイスタイム」で結び、東日本大震災の伝承や、松島高観光科について学んだ。2年約80人が出席。南三陸ホテル観光の小野寺浩支配人が震災後に通行し、支那の旅行バスを運行し、被災地の状況をほか、防災意識を高めてもらう話もして、多くの方々に利用してもらいたいと話した。

観光名所やお薦めの店紹介

松島高観光科は、新型コロナウイルスの感染拡大に対応しオンライン授業を実施した。松島町の同校で実施した。教室と南三陸町の三陸ホテル観光をビデオ通話アプリ「フェイスタイム」で結び、東日本大震災の伝承や、松島高観光科について学んだ。2年約80人が出席。南三陸ホテル観光の小野寺浩支配人が震災後に通行し、支那の旅行バスを運行し、被災地の状況をほか、防災意識を高めてもらう話もして、多くの方々に利用してもらいたいと話した。

宮城県観光を一緒に盛り上げましょう

